

◆ 気候非常事態宣言に関する決議…長嶋が決議文作成！

昨年10月4日「気候非常事態宣言に関する決議」可決。

長崎県壱岐市に続き日本で2番目、議会決議は全国初。世界中で話題になりました。

気候非常事態宣言に関する決議

人類の活動を主な要因とする気候変動によって地球環境は劣化し、もはや持続可能とは言えず、我々の生活も脅かされている状態である。近年の異常気象による災害、熱中症・感染症の増加、農作物・生態系の変化などの実態を見れば、そのことを否定することは難しい。

温室効果ガス排出量は増加の一途をたどり、2018年の二酸化炭素(CO₂)排出量は、過去最高の約331億トンに達したことが、国際エネルギー機関(IEA)の報告書で明らかになった。

また、国連の気候変動に関する政府間パネル(IPCC)第5次評価報告書によれば、今世紀末の世界平均気温の変化は0.3~4.8度の範囲、平均海面水位の上昇は0.26~0.82メートルの範囲となる可能性が高く、地球に長期的な変化を及ぼしかねない危機的状況にあると言える。

このような状況の中、オーストラリア南東部の自治体デアビン市が2016年12月に初めて宣言してから、世界の地方自治体が「気候非常事態」を宣言し、包括的な行動計画を立案、実施する動きが燎原の火のごとく広がっている。

日本の自治体もこの動きに呼応するべきであると考え、本市議会は鎌倉市がSDGs未来都市として、下記のような国際基準を踏まえた「気候非常事態宣言」を行うよう求める。

- 1 「気候危機」が迫っている実態を全力で市民に周知する。
- 2 温室効果ガスのゼロエミッションを達成することを目標とする。
- 3 気候変動の「緩和」と「適応」「エシカル消費」の推進策を立案実施する。
- 4 各行政機関・関係諸団体等と連携した取り組みを市民とともに広げる。

以上、決議する。 令和元年(2019年)10月4日 鎌倉市議会

2020年2月7日には鎌倉市も気候非常事態宣言を表明しています。もはや、新駅設置・本庁舎新築移転などと言っている場合ではありません。2050年温室効果ガス排出量ゼロが目標です。そうしなければ地球は人間がまともに住めない状況になるのです。30年後自分はいないのに開発を声高に叫ぶ人達は本当に無責任です。

食を見直す(フレキシタリアン)、化石燃料制御、大量生産大量消費からの脱皮、地産地消、古い物を大事に使う⇒これ、ちょっと前の日本人の生活を思い出せば良いのです。

提案者：公明党西岡、共産党高野
無所属 くりはら、千一、長嶋

△退席9名→△自民党(森功一、志田一宏、伊藤倫邦)△鎌倉みらい(山田直人、池田実、前川綾子)△神奈川ネット(保坂令子、安立奈穂)△無所属(竹田ゆかり)
×反対2名→鎌倉のヴィジョンを考える会(中村聡一郎、河村琢磨)

128号3期目29号(2月号) 完全無所属・長嶋竜弘



富貴を望まず

我人に媚びず

稲村ヶ崎小学校⇒御成中学校
⇒茅ヶ崎高校⇒和光大学
さいかや、東急ハンズ、西友、道の駅
などで勤務。自転車整備士。

※ナガシマ個人メール

kamakurasi@gmail.com

※鎌倉市議会電話

0467-23-3000 内線:2448

極楽寺 2-6-10-201 在住

◆ 令和3年虚構の政治に終止符を！…貴方の1票で変えられます！

今の日本の政治は多くが虚構の世界。これが12年議員をやって来た私の答えである。口ではカッコいいこと言って足元ではやらない。都合の悪い事実は隠して利権の為世論を誘導する。本当に嘆かわしい。

人口減少、超高齢化、GDP長期横ばい、長期デフレ、空家急増、食品自給率1965年73%⇒2019年38% 日本はもはや衰退途上国

村岡新駅、倍の面積の本庁舎新築、大型商業施設誘致、3千人規模マンション等のバブルの頃の発想では、気候非常事態と感染症、2025年2045年問題到来で鎌倉市は破綻に向かう。深沢の事業費約500億円、今の我が国の状況で、税金増による投資回収ができる見込みなどたてられますか？⇒これは次世代への負担になるのです。

◆ 今やるべきことは何か？…大きな視点では地域型資本主義への転換！

○コロナ対策⇒医療・介護・福祉の従事者向けの様々な予算措置が必要です。人員・用具・場所の確保、市民への周知啓発、など。

⇒経済対策は別途書きますが、内需拡大策が重要です。

○ごみ問題⇒ガス化溶融炉・固形燃料化施設、その他新しい処理方法の施設整備(自区外処理は否定しないが確実性が重要)

○地震津波対策⇒家屋倒壊・津波避難対策は両方に対応可能な、津波シエルターが良い⇒注:避難タワーでは高齢者は逃げ遅れます。

○がけ崩れ・危険木対策⇒公有地の危険場所を洗い出し対策。民有地は対策補助金増額と、地主への警告を繰り返し行う。

○気候非常事態 ○インフラ老朽化問題 ○食品自給率の改善

○学校施設老朽化⇒老朽化による雨漏りなどの改修、付帯設備の改修・設置など。災害時避難所にもなるので急務。

◆鎌倉市本庁舎整備に関する住民投票条例の制定について

2年前 8,270 の署名を集めて住民から直接請求されましたが**否決**。
 今回高野洋一議員が中心になり、私も提案者となり再提案しましたが**否決**。
 鎌倉市議会は本庁舎移転の住民意思を直接聞く事はないとの判断です。

○賛成 10 名

・無所属

松中健治, 千一, 竹田ゆかり, くりはらえりこ, **長嶋竜弘**

・日本共産党鎌倉市議会議員団

吉岡和江, 武野裕子, 高野洋一

・神奈川ネットワーク運動鎌倉

保坂令子, 安立奈穂

×反対 13 名

・公明党鎌倉市議会議員団

納所輝次, 西岡幸子, 大石和久

・鎌倉みらい

池田実, 山田直人, 前川綾子

・自由民主党鎌倉市議会議員団

伊藤倫邦, 志田一宏, 森功一

・鎌倉のヴィジョンを考える会

中村総一郎, 河村琢磨

・鎌倉夢プロジェクトの会

高橋浩司, 日向慎吾

(久坂くにえ議長は採決不参加。委員会で反対)

※県議に転出した2名は前回採決時反対!

・永田磨梨奈(自民党)、飯野真毅(立憲民主党) ←立憲が反対とは?

市長派、自民、公明、立憲民主党、浅尾派が反対!

鎌倉市本庁舎整備に関する住民投票条例の制定について

鎌倉市本庁舎整備に関する住民投票条例を次のように定める。
 令和2年(2020年)12月15日提出

提出者 鎌倉市議会議員 くりはらえりこ

同	同	上	竹田 ゆかり
同	同	上	長嶋 竜弘
同	同	上	高野 洋一
同	同	上	松中 健治



↑ 12/29blog

本庁舎移転は 4
 月市議選最大争
 点。新人元職の反
 対派が 3 人賛成
 派と入れ替わる
 必要があります。
 市民の皆様の判
 断で決まります。

条文は 13 条あり、ブログ掲載

鎌倉市本庁舎整備に関する住民投票条例

(目的)

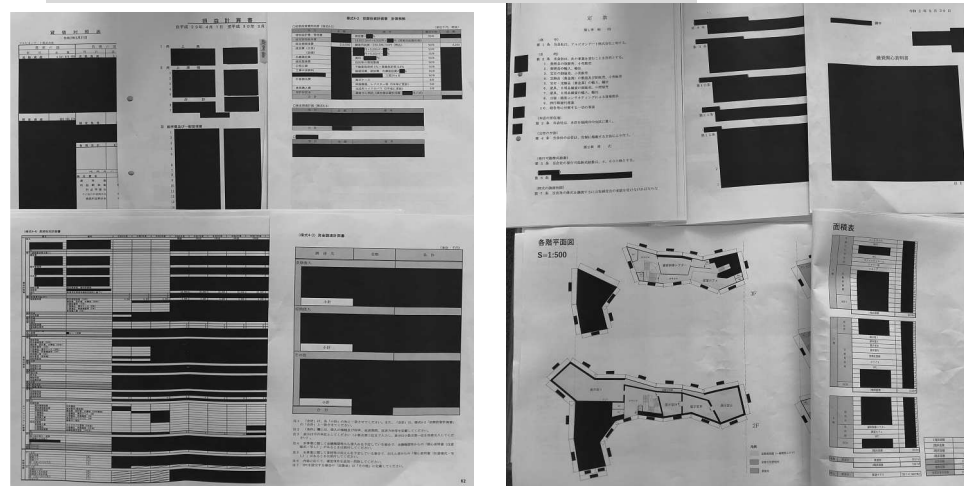
第1条 この条例は、鎌倉市が進めている市役所本庁舎移転整備計画に関して、市民の意思を明らかにするための住民投票を行い、もって市長及び市議会に民意を示すことを目的とする。

(住民投票の実施)

第2条 前条の目的を達成するために、次の各号の選択肢について、住民投票を行う。

- (1) 本庁舎の深沢地域(深沢地域整備事業用地内の行政施設用地をいう。以下同じ。)への移転に賛成
 - (2) 本庁舎の深沢地域への移転に反対
- (住民投票の執行)

◆旧野村総合研究所跡地宝飾美術館を選定…実態不明の会社



旧野村総合研究所跡地の事業者「参加資格申請書」「提案書」を情報公開⇒真っ黒のり弁で出てきた⇒貸借対照表、損益計算書、初期投資計画書、長期収支計画書、資金調達計画書、定款、融資感心表明書、平面図の一部、面積表、その他資料が真っ黒のり弁。
 市民の財産を30年間貸すのにこんな実態不明で許される訳が無い。

また、12月11日総務常任委員会くりはら議員の質疑でトンデモナイ内容が発覚。橋の改修等の費用が予算よりオーバーした場合賃料から相殺する。賃料2,200万円が0円になる可能性もあると答弁。何故宝飾美術館?多くの反対の声が上がっています。

対案は?⇒①大学誘致②高級ホテル誘致③DASH村構想

⇒市民が活用できる又は経済効果が見込める施設。

議会の議決事項なので過半数による議決がなければ決定しません。賛成か?反対か?4月市議選争点です。



12/30blog

◆今、地球が気候非常事態…令和の時代、最も重要なテーマ!

気候変動により「地球環境は非常事態」です。昨今の台風被害・異常な猛暑、大雪からも危機的になっているのがわかります。10月26日、菅総理が所信表明演説において「2050年温室効果ガス排出量ゼロ」を表明しました。

しかし、日本人の大人の認識は低く、世界からは非難の目が向けられているのが実態です。今放置したら「状況は益々悪化」します。鎌倉にいるとピンと来ないかもしれませんが、地球環境はあらゆる場所で危機的な状況です。環境が悪化する大型開発事業を押し進める事は「あり得ない」選択です。